

# 在宅取組型(小学校)

別紙様式1

学校名等	多治見市立池田小学校
実施日時	令和3年6月
会場	保護者の自宅
参加人数	全保護者(カード提出42名、レシピ掲載23名)
学習課題(分野)	食育習慣!好き嫌いをなくそう☆我が家の好き嫌い克服メニュー! (家族の大切さ、思いやり)
運営者の願い	コロナ禍で活動が制限される中、家庭教育委員として何かできないかを考えた時、在宅でもできる取組を考えた。学校の栄養教諭とも相談し内容を工夫した。

## 学習の内容

### <取組内容>

- ① 家族で苦手食材を使ったメニューを考え、
- ② 実際に作って食べてみて、
- ③ そのレシピを報告する。

### <活動の工夫>

レシピを報告する「我が家の好き嫌い克服メニュー紹介カード」には、子どもの学年に○をつけるようになっていて、手軽です。取組み方も子どもが作っても、親が作っても、親子で作ってもOKで、家族の状況に応じて対応できます。

カードの下方には、「校内掲示 可・不可」と、掲示の同意を確認する欄が設けてあります。在宅取組のナー「強制しない・比べない・探らない」を実践しています。

児童の給食委員会と一緒に、校内に掲示して啓発しました。

### <活動の発展>

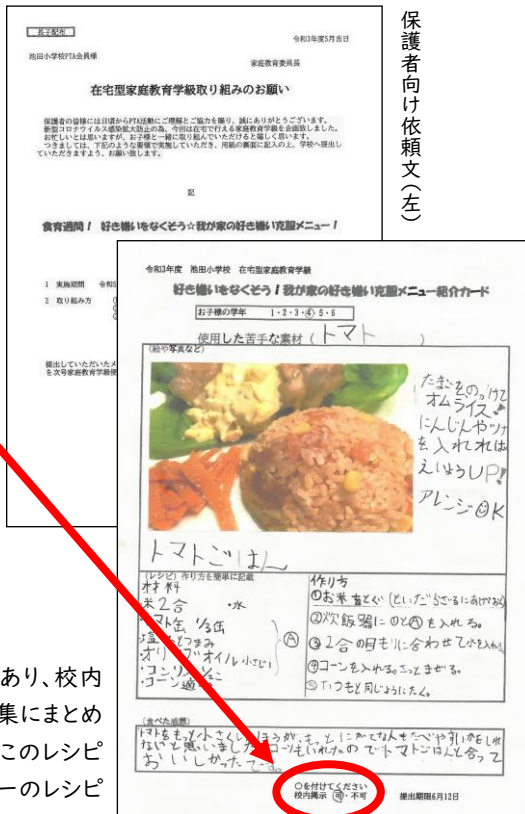
提出していただいたレシピは大変工夫しており、校内掲示だけではもったいないということで、レシピ集にまとめて印刷し、全保護者に配布することになりました。このレシピ集には、栄養教諭からのコメントや、給食メニューのレシピなどを加えて、実際に活用できる工夫が凝らしてあります。

### <レシピ集内の感想欄より>

- ・トマトが苦手な4年生  
「生のトマトだと食べれなくてきそうになるから。ソースやスープになると食べれます。ママが作ったのはほっぺが落ちるくらいおいしいです。」(原文のまま)
- ・ピーマンが苦手な1年生の母  
「ピーマンの苦さもほとんどなく完食できました。煮詰めて味をしみこませるのが重要です。子どもと一緒に作ることで自分が作った料理がどんな味になるか考えながら楽しい時間になりました。」

### <校長先生より>

どのメニューもよく考えられていました。親子で楽しそうに作ったり食べたりしている様子が目に浮かびました。また、「作ってみたいな」と思えるメニューもたくさんありました。皆さんの苦手なものが好きな食べ物メニューの一つに加わるかもしれませんね。



提出されたメニュー紹介カード(上)



全保護者に配布されたレシピ集の表紙



### 家庭教育委員の高い意識

「コロナ禍で家庭教育学級の取組なんて何もできない」ではなく、在宅でできることを考えたり、栄養教諭にアドバイスを求めたり、取り組めなかった家庭にもレシピ集を届けて活かしてもらおうとしたりと、家庭教育委員が、「今できることは何か」ということを常に考えて活動しているプラス思考の家庭教育学級になっています。



### さらにもう一歩

例年取り組んでいる「読み聞かせ」に替えて在宅取組の工夫をしたのですが、やはり、何とかして「読み聞かせ」ができないかと、もう一工夫した活動が加わりました。子どもたちが個々に使っているタブレットPCを活用して、読み聞かせ動画を家庭で撮影してもらい、それを教室で放映するという形で実行することになりました。家庭ごとの様々な工夫が凝らされた素敵な読み聞かせ動画が出来上がりました。



### 活動を広げる

市PTA連合会の家庭教育委員会の研修会が年に数回行われ、各単PTAの担当者が参加しています。

池田小学校の取組のほか、各校の実践が交流され、市内の単PTAへの啓発となっています。